

キッズ・モニター＋ 第2回オンラインイベント テーマ

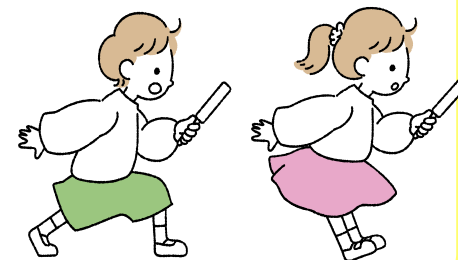


「子ども条例啓発パンフレットについて」

1. 実施期間	令和7年8月29日（金）
2. 対象	中学生・高校生
3. 実施方法	オンライン（Zoom）での聴き取り
4. 担当課	少子化対策課

みなさんに聴いたこと

1. 中高生向けパンフレットの表紙について
2. 中高生向けパンフレットの中身について
3. 大人向けパンフレットにのせる「大人へ伝えたいメッセージ」



いただいた意見の活用

「三重県子ども条例」を
多くの人に知ってもらうための
啓発パンフレットづくりに
ご参加いただき、ありがとうございました。

すてきなアイデアをたくさん取り入れた、
新しいパンフレットが完成しました！

素晴らしい意見をたくさんもらったので、
次のページから紹介します！

パンフレットの表紙について

4種類のデザインを見て、良いと思ったところ、改善したほうがいいと思うところなどを教えてもらいました。



・「三重県子ども条例」と大きく書いてある方が、題材がはっきりとしていてわかりやすい。



・次のページからの、いろんな場面のイラストを表紙にも使うのがいいと思う！



・イラストが「立っているだけ」な感じがする。

・「すべての子どもが～」はタイトルにすると、文字が多すぎる。



・背景が白いものは、メリハリがある感じがするし、文字が読みやすい。

パンフレットの表紙 完成版！！



人が「立っているだけ」のイラストではなく
・自分の声を届けようとメガホンを持っている
・「意見」を大切にぎゅっと抱きしめる
など、前向きな印象のイラストを追加しました。

背景は「白」を採用して
イラストやタイトルを読みやすくしました。

みんなを「つつみこむ」イメージ
＝「リボン」のイラストを入れました

・イラストは、
わかりやすくていい！

・「『その』意見が…」、
「『その』最善の利益…」
『その』はないほうが
伝わりやすい。

・「参画」という言葉は、
少しわかりづらいかも。



1 ～ 2 ページ 完成版

こんな悩みはありませんか？

大人の意見を押し付けられる

大人の意見

SNSで悪口を書かれる



いじめられて傷ついている



安心して居場所がない



家の手伝いが多くて宿題ができない



困ったときに相談できる場所がない



子どもの権利が守られていない一例です。
子どもの豊かで健やかな育ちについて考えてみませんか？



「悪口を書かれた」
「傷ついた」

「悪口を書かれる」
「傷ついている」

『その』という文言を取って
わかりやすくしました。

「参画」という言葉を
「参加」に変更しました。

三重県子ども条例の紹介

子どもの権利条約の理念にのっとり、
子どもの権利が保障される社会の実現を
目指して制定された条例です。

条例が大事にしていること（基本理念）

子どもは、生まれながらに
権利を有し、いかなる理由による
差別も受けることがない



子どもも大人と同じようにたくさん
権利をもっていて、
子どもだけが持つ権利もあります。
人種、性別、考え方、障がい、経済状況など、
どんな理由でも差別されません。

子どもは、生命及び健康が守られ、
健やかに成長することができる



子どもは犯罪や事故、危ないことから
守られ、健やかに育つことができます。

子どもは、自分の意見を表明し、
多様な社会的活動に
参加することができる



子どもは自分の思いや意見を自由に
大人に伝えることができます。
学校や地域の社会活動に参加したり、
子どもの意見を社会に生かしたりすることが
できます。

子どもは意見が尊重され、
最善の利益が考慮される



子どもの意見が大切にされます。
大人は、子どもにとって、もっとも
よいことは何かを優先して考えます。

子どもの権利条約とは

1989年に国連総会において採択。日本は1994年に締約国となりました。
子どもも、大人と同様にひとりの人間として権利を認め、成長の過程にあって
保護や配慮が必要な子どもならではの権利を定めています。

3 ～ 5 ページめ みんなの意見

子どものために大人がやること

大人は子どもの権利を守るために、それぞれ役割を持っています。
みんなが協力して、子どもを支えます。

保護者

子どもを大切に育てる責任があることを理解し、行政や支援団体などから必要なサポートを受けながら、子どもが安心して育つ環境を作るように努めます。

学校等関係者

子どもの安全の確保や子どもが安心して学び、育つことができる環境づくりに努めます。
子どもが子どもの権利について学び、意見を表明することができるよう支援します。

事業者

働く人が仕事と家庭の両方で充実した生活ができるように職場環境を整え、地域で子どもが成長できるように支援する取組の推進に努めます。

連携 協力



県

県は、子どもに関する施策を計画的に進め、子どもの意見や最善の利益を大切にします。
市町と協力し、保護者や学校、地域の人々が協力できるよう支援し、みんなで子どもを支える取組をサポートします。

三重県がやっていくこと

虐待・いじめなどの権利侵害から子どもを守ります。(11条)



子どもの安全と安心のための取組を推進



子どもの権利を守るための仕組みづくり



子どもの権利について、みんなが学ぶ機会を提供します。(12条)



すべての子どもが豊かで健やかに育つことができるように支援します。(13条)



子どもの意見を県の取組に反映します。(14条)



子育てをしている家庭が安心して暮らせるように支援します。(15条)



ひとりで悩まないで

家族のこと、将来のこと、友達のこと、自分のこと、誰にも言えないこと

「誰かに話を聞いてもらいけど、どうしたらいいかわからない」



「相談するのって少し不安」

そう思うかもしれない。
でも、あなたの気持ちが一番大切だから。
あなたの話を、聞かせてほしい。



子どものための相談電話

こども ほっと ダイヤル
☎0800-200-255
受付 13:00～21:00 12/29～1/3を除く

※ヒミツは守ります
※電話代はかかりません
(三重県内の発信のみ)

電話のほか、チャット・メールでも相談できる

チャイルドライン MIE
☎0120-99-7777
受付 16:00～21:00 12/29～1/3を除く

※ヒミツは守ります
※電話代はかかりません
(三重県内の発信のみ)

くわしくは
こちら→

あなたや周りの子の「子どもの権利」が守られていないとき、
あなたならどうしますか？

三重県子ども・福祉部 少子化対策課
〒514-8570 三重県津市広明町13
☎:059-224-2404 FAX:059-224-2270 E-mail:shoshika@pref.mie.jp
<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001187904.pdf>

三重県子ども条例
の全文



・リボンの表現が「包み込んでいる」というイメージで素敵。

・わかりやすい。立っているだけな印象のイラストもあるけど、悪くない。

3 ～ 5 ページめ 完成版

子どものために大人がやること

大人は子どもの権利を守るために、それぞれ役割を持っています。
みんなが協力して、子どもを支えます。

保護者

子どもを大切に育てる責任があることを理解し、行政や支援団体などから必要なサポートを受けながら、子どもが安心して育つ環境を作るように努めます。

学校等関係者

子どもの安全の確保や子どもが安心して学び、育つことができる環境づくりに努めます。
子どもが子どもの権利について学び、意見を表明することができるよう支援します。

事業者

働く人が仕事と家庭の両方で充実した生活ができるように職場環境を整え、地域で子どもが成長できるように支援する取組の推進に努めます。

連携協力

支援団体

専門性を生かした活動を通じて、子どもの育ちを見守り、支えるよう努めます。

県民

子どもに関する施策について理解を深め、積極的に協力するよう努めます。

県

県は、子どもに関する施策を計画的に進め、子どもの意見や最善の利益を大切にします。
市町と協力し、保護者や学校、地域の人々が協力できるよう支援し、みんなで子どもを支える取組をサポートします。

三重県がやっていること

虐待・いじめなどの権利侵害から子どもを守ります。
(11条)



子どもの安全と安心のための取組を推進



子どもの権利を守るための仕組みづくり



子どもの権利について、みんなが学ぶ機会を提供します。
(12条)



すべての子どもが豊かで健やかに育つことができるように支援します。
(13条)



子どもの意見を県の取組に反映します。
(14条)



子育てをしている家庭が安心して暮らせるように支援します。
(15条)



ひとりで悩まないで

家族のこと、将来のこと、友達のこと、自分のこと、誰にも言えないこと

「誰かに話を聞いてもらいたいけどどうしたらいいかわからない」



「相談するのって少し不安」

そう思うかもしれない。
でも、あなたの気持ちが一番大切だから。
あなたの話を、聞かせてほしい。



子どものための相談電話

こども ほっと ダイアル
☎0800-200-2555
受付 13:00～21:00 12/29～1/3を除く

※ひみつは守ります
※電話代はかかりません
(三重県内の発信のみ)

LINEでも相談できます



こども ほっと ダイアル LINE相談
受付 13:00～21:00 12/29～1/3を除く

※ひみつは守ります
※トーク相談のみ

あなたや周りの子の「権利」が守られていないとき、
あなたならどうしますか？

三重県子ども・福祉部 少子化対策課

〒514-8570 三重県津市広明町13

☎: 059-224-2404 FAX: 059-224-2270 E-mail: shoshika@pref.mie.jp

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001187904.pdf>

三重県子ども条例
の全文



誤字の修正

×聞いてもらい
→○聞いてもらいたい

「子どもの権利」を学バイラスト
子どもだけでなく、大人も一緒に
学んでいるものに変更しました。

大人に伝えたい子どもの声

社会の変えたいところ、大人に変わってほしいところを、
子どもに聞きました

子ども自身の考えや
気持ちを尊重してほしい。
大人に子どもの意見を
聞く姿勢を持ってほしい。

子どもの見回りをする人は、
お年寄りしか見たことがない。
若い人はやらないの？

宿題をしているそばで
親がスマホを見ていると
気が散って集中できない。
スマホを見ずに、子どもの
サポートをしてほしい。

怒るときに強く
言わないでほしい。

お母さんとお父さんが
怒っている顔はあんまり
見たくない。怒っている時を
少なくしてほしい。



子どもが将来に夢や希望を持って暮らせる三重県を
一緒に作りましょう

あなたの周りで子どもの権利が守られていないとき、
あなたならどうしますか？

三重県子ども・福祉部 少子化対策課

〒514-8570 三重県津市広明町13

☎:059-224-2404 FAX:059-224-2270 E-mail:shoshika@pref.mie.jp

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001187904.pdf>

三重県こども条例
の全文



←①小学生の部②中学生・高校生の部で
みんなが教えてくれた「大人へのメッセージ」は
大人用パンフレットの最後のページにのせました！

パンフレットにのせた声以外にも… みんなに聞いた「大人へ伝えたいこと」

- ・少数派の意見や、少数派の人が困っている状況を、
軽んじることなく大事にしてほしい。
- ・社会と関わる機会がない。オフラインで、誰かと話し
て一緒に協力して、何かをする。そういうことができる
場所が、もっと知られるといいと思う。
- ・「どうせ子どもなんだから」「子どもの意見は論理性
がなくて聞くに値しない」みたいに受け取られること
がある。
- ・頭ごなしに言われるのは、尊重されていないと思う。
大人には子どもと意見を交換する姿勢を持ってほし
いと思う。



たくさんの意見をありがとうございました！

**みなさんが届けてくれたアイデアや思いを取り入れて、
新しいパンフレットが完成しました！**

**「三重県子ども条例」は、
「子どもの権利」が保障される社会の実現を
目指して制定された条例です。**

**子どもたちが将来に夢や希望をもって暮らすことができる
三重県を作るため、
この条例をより多くの人に知ってもらえるように
これからも取り組んでいきたいと思います。**

ご協力いただき、ありがとうございました。

